

「がん検診ジョウトウド～」

宮古保健所 健康推進班健康づくりグループ 穂積 大貴^{ほづみ だいき}

宮古地区の働き盛り世代のみなさんへ健康情報をお届けするため、毎月1回リレー方式で記事を書いています。今回の担当は宮古保健所健康推進班健康づくりグループです。

宮古地区のみなさま、がんずうがんずううらまうなあー！

毎年10月は「がん検診受診率向上に向けた集中キャンペーン月間」で「がん検診 愛する家族への贈りもの」をキャッチフレーズにがん検診受診率向上を推進しています。

国民の2人に1人が“がん”になり、3人に1人が“がん”で亡くなっています。沖縄県が公表した最新のデータ(※1)では、宮古地区において男女ともにがんでの死亡が最も多いです。初期の段階で見つける「がん検診」を受けることで、がんによる死亡を今よりも減らすことができます。

がんは発見の早さが生存率に大きく直結する病気です。がん検診受診を控えて発見が遅れば遅れるほど治療の選択肢が狭まり、死亡のリスクが大きくなっていきます。がんは初期症状がほとんどありません。そのため自分は健康だと思っている人たちでも定期的な検診が必要です。定期的な検診や周りの人への声かけが、がんの早期発見に繋がります。

宮古保健所が主催する宮古地区地域・職域連携推進会議では、今年度「検査は無料！お家で簡単！ジョウトウド～」をキャッチフレーズに大腸がん検診受診率向上の取組の一環で受診勧奨チラシを配布しております。チラシが欲しい方は、宮古保健所健康推進班(0980-73-5074)までご連絡よろしくお願いたします。

宮古地区のみなさま、自分のため、家族のため、地域全体のため、ぜひ「がん検診」を定期的に受けましょう。がん検診の案内については、お住まいの市村から案内がありますのでご確認ください。次は島の保健室へバトンを繋ぎます。

※1 令和5年6月沖縄県市町村別健康指標死亡数及び標準化死亡比(2017～2021年)

【大腸がん検診受診勧奨チラシの見本】